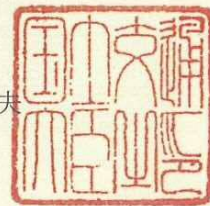


認定書

国住参建第88号
令和6年4月19日

フネンアクロス株式会社
代表取締役 稲葉 久敬 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の25第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第129条の2の4第1項第七号ハ（防火区画貫通部1時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-1274
2. 認定をした構造方法等の名称
繊維混入セメントモルタル被覆硬質ポリ塩化ビニル管／シーリング材充てん／壁準耐火構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

別 添

1. 構造名：

繊維混入セメントモルタル被覆硬質ポリ塩化ビニル管／シーリング材充てん／壁準耐火構造／貫通部分

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ261mm以下)
	面積	0.054m ² 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面積 の総合計の割合)		92.1%以下
配管と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		5～12mm
貫通する壁の構造等		建築基準法施行令第112条第2項に掲げる基準に適合する壁構造(60分) 又は建築基準法第2条第七号の規定に基づく壁構造(60分) 厚さ 60mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 構成材料の仕様

項 目	仕 様	
充てん材	材料	建築用シーリング材(JIS A 5758) 種類：①又は② ①シリコーン系 ②変成シリコーン系
	充てん量	隙間に密に充てん (壁の両側に奥行14mm以上、盛上げ5mm以上、掛かり代5mm以上)

表3 配管の仕様

項目		仕様				
配管	耐火二層管	外管	材料	繊維混入セメントモルタル		
			形状	円筒		
			組成 (質量%)	セメント：①、②又は組合せ ①ポルトランドセメント(JIS R 5210) ②エコセメント(JIS R 5214) 無機質混和剤・軽量骨材 有機繊維 ただし、 無機質混和材：非公開 軽量骨材：" 有機質繊維："	非公開 非公開 "	
				密度	1.4(±0.3)g/cm ³	
				寸法	呼び径	20～200 [近似外径φ38～φ237mm]
					厚さ	5.5～8.5mm
			表面処理材	材料	仕様：あり又はなし アクリル樹脂系	
	質量	90g/m ² 以下				
	内管	材料	種類：①、②又は③ ①硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6741、JIS K 6742) (VP、HIVP 又は VU) ②耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6776) (HT) ③リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(JIS K 9798) (RF-VP)			
			寸法	呼び径 20～200 [基本寸法φ26～φ216mm] 厚さ 1.8～11.0mm		
		形状	シート又はリング			
	空間成形材	材料	仕様：あり又はなし 種類：①、②又は③ ①人造鉱物繊維保温材(JIS A 9504) 非公開 ②合成樹脂 非公開 ③発泡プラスチック(JIS A 9511) 非公開			

4. 副構成材料の仕様：
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目		仕様	
バックアップ材	材料	仕様：あり又はなし ①又は② ①発泡ポリエチレン系 ②ロックウール	
	寸法	材料①：外径φ13mm以下	
	密度	①23.2kg/m ³ ②80kg/m ³ 以上	
	使用箇所	必要に応じて、充てん材のバックアップ材に用いる	

5. 構造説明図：
 構造説明図を図1示す。

単位 mm

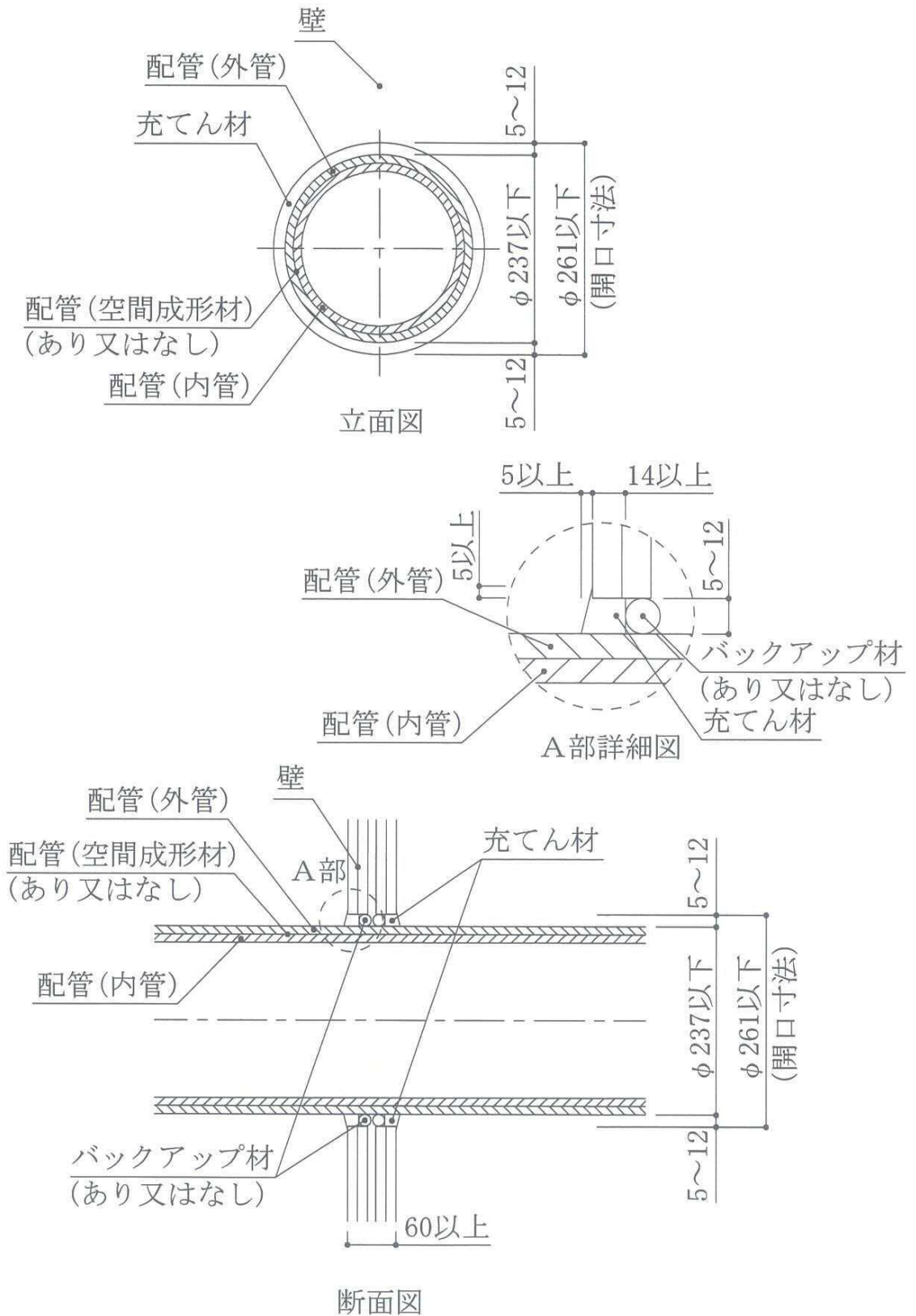


図1 構造説明図(施工図)

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 配管材料の受入とサイズ・数量の確認及び運搬・保管

[受入とサイズ・数量の確認]

受入時は、表示された品名、呼び径、数量などが適合しているかを確認する。

(2) 開口面積、占積率の確認

配管図に基づき配管の設置状況及びサイズを調べ、開口面積・占積率を確認する。

(3) 貫通部の埋め戻し

配管と開口部の隙間にシーリング材を密に充てん(壁の両側に奥行14mm以上、盛上げ5mm以上、掛かり代5mm以上)する。必要に応じて、バックアップ材を用いることが出来る。